

R2.8.19 臨時部長会議資料
教育委員会事務局総務課

教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価報告書について (令和元年度分)

長野市教育委員会

点検・評価の概要

点検・評価の根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第26条
点検・評価の目的	<ul style="list-style-type: none">① 教育委員会は、毎年事務事業の取組状況について点検・評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進を図る。② 点検・評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会へ提出するとともに、公表することにより市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政の推進を図る。
点検・評価の実施方法	<ul style="list-style-type: none">① 第二次長野市教育振興基本計画の施策の体系に基づき、関係部局とも連携しながら点検・評価を行い、課題や今後の取組の方向性を明らかにする。② 学識経験を有する者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検・評価を行う。③ 結果を取りまとめた報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページにおいて市民に公表する。

報告書の構成

1 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要 (P1)

2 事務局・教育機関の所属ごとの主な事業の概要と評価 (P2～14)

3 施策別の事務の点検・評価と今後の方向性 (P16～61)

基本的方向1 次世代を担う子どもたちの「生きる力」の育成

- 1-1 子どもたちの「生きる力」を育成する教職員の力量の向上
- 1-2 乳幼児期からの段階に応じた教育の充実
- 1-3 安心・安全な教育環境の整備
- 1-4 一人一人を大切にする教育の推進

基本的方向2 地域に支えられ、親と子が共に学び育ち合う環境の充実

- 2-1 家庭・地域・学校の連携・協働による教育力の向上
- 2-2 地域が子どもの育ちを支える環境の充実

基本的方向3 生きがいを求め、社会に参画する力を高める学びの機会の充実

- 3-1 学びの機会を支える生涯学習環境の充実
- 3-2 豊かな生活につながる生涯学習の推進

基本的方向4 多彩な文化・スポーツ遺産を継承・創造し、全ての市民が享受できる文化力の向上

- 4-1 多彩な資源を生かした文化芸術・スポーツ創造環境の構築
- 4-2 国際交流・多文化共生の推進

4 前年度までの学識経験者の意見に対する取組 (P62～65)

5 今年度の学識経験者の意見 (P66～67)

成果のあった主な取組 ①

取組名	実施状況	評価
教職員の研修	第二期しなのきプランの3つの重点(確かな学力の育成、豊かな心の育成、基礎的な体力の育成)と深く関わる講座のほか、新学習指導要領など教育課題に対応した講座を「重点講座」として整理し、教職員に周知した。	研修目的を明確にするとともに、教育課題にも対応するよう内容を精選したことで、研修講座が選択しやすくなり、受講者から高評価を得た。
小・中学校クール化プロジェクト	整備方針に基づき、小・中学校60校へエアコンの整備を進めた。	令和元年の夏までに、小学校30校の普通教室等へエアコンの整備を完了した。さらに夏以降、中学校を含む30校への整備を進めた。
小・中学校トイレ改修	それぞれのトイレについて、校舎の建築年数や改修履歴、利用頻度等を踏まえ、全面改修が必要か、整備内容を絞り込んだ改修とするのか整備計画の検討を進めた。	全面的な改修を要するトイレと、洋式便器への交換や小便器の自動水洗化など一部改修で対応できるトイレとがあることから、校舎の建築年数を踏まえた整備計画をベースに、それぞれの改修を計画的に実施する。

成果のあった主な取組 ②

取組名	実施状況	評価
学校給食センターの整備完了とアレルギー対応食の提供	今年3月に第一学校給食センターの改築工事が完了した。	すべての学校給食センターにアレルギー対応専用調理室が整備されたことから、第一学校給食センターでの調理業務が軌道に乗った後、アレルギー対応食の提供を開始する。
松代における文化継承と活用	松代地区や市の商工観光事業と連携しながら、真田宝物館、真田邸等松代文化施設を会場として企画展や関連事業を開催した。	開館以来初の刀剣展として「真田×刀（さなだ と かたな）」を開催するとともに、松代公民館をイベント会場として講演会等を催した。 また「松代文化財ボランティアの会」が、文化による城下町の振興と長年にわたる自己研鑽活動が認められ、国土交通大臣から「手づくり郷土賞大賞部門グランプリ」を受賞した。

主な課題と今年度の取組 ①

取組名	現況と課題	今年度の重点的な取組
GIGAスクール構想の加速	新型コロナウイルス感染症の拡大等による学校の臨時休業等においても、すべての子どもたちの学びを保障するため、児童生徒への「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速する必要がある。	GIGAスクール構想の実現を加速させるため、ICT環境整備にかかるロードマップを更新し、1人1台端末の配備とネットワークの高速化を実施していく。併せて、1人1台端末の配備による学びの実現に向け、教職員の指導力向上を図る研修等の実施や、ICT支援員等による支援を行う。
NRTを活かした指導改善サイクルの構築	小学校では、標準学力検査(NRT)の分析に基づいた授業改善サイクルが構築されてきているが、中学校でも推進していく必要がある。	第二期しなのきプランに基づき、中学校においても、NRT分析に基づいた補充・補完指導や授業改善サイクルの確立を図る。また、小・中学校ともに、自学自習の資質・能力を育むための指導の構築を図る。
活力ある学校づくり	「活力ある学校づくり検討委員会」からの審議のまとめ(答申)について、連携推進ディレクターが中心となり、未就学児及び小・中学生の保護者等との対話を進めた。	35学校区において保護者との対話を開始した。さらに27学校区においても対話を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で説明会が見送られている。保護者とのつながりが途切れないよう工夫していく。

主な課題と今年度の取組 ②

取組名	現況と課題	今年度の重点的な取組
小・中学校校舎の長寿命化計画	学校施設は築30年以上の建物が全体の67%を占めており、老朽化が進んでいる。建物の長寿命化を図り、改築費用を低減するとともに、豊かな教育環境の整備を進める必要がある。	文部科学省から令和2年度中の策定を求められている長寿命化計画を、劣化度調査結果に基づき、公共施設等総合管理計画を踏まえて策定する。
長沼交流センターと豊野公民館の復興	令和元年東日本台風災害により被災した長沼交流センターと豊野公民館について、各地区から、災害に対応する施設として復興を求められている。	各地区の住民自治協議会等関係者と連携しながら、復興の方針を検討する。
旧文武学校保存整備事業	旧文武学校では、施設全体を休館し、保存修理工事を実施してきたが、今年3月に完了した。併せて行っている展示設備の整備に関し、令和元年東日本台風災害と新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、一部コンテンツの整備・調整に時間を要している。	引き続き「見て、触れて、楽しく学べる藩校」をコンセプトとした旧文武学校における展示設備の整備に取り組み、10月のリニューアルオープンを目指す。

学識経験者の意見

- 点検・評価報告書に対し学識経験者からいただいた意見を記載した。
- 今年度の事業の実施に当たり可能なものはすぐに取り組み、それ以外は来年度以降の事業に生かすべく、今後検討する。

全 体 意 見	2件
施策別の今後の方向性に関する意見	8件
1-1 子どもたちの「生きる力」を育成する教職員の力量の向上	3件
1-2 乳幼児期からの段階に応じた教育の充実	2件
1-4 一人一人を大切にする教育の推進	1件
2-1 家庭・地域・学校の連携・協働による教育力の向上	1件
4-2 国際交流・多文化共生の推進	1件
合 計	10件